

令和5年度 第4学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎成果 ●課題
知識・技能	<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 知識として知っていることで満足しがちである。自分の実生活と繋げて社会的事象に自分も関わっている意識をもたせ、使える知識にしていく必要がある。 	<p>〈社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自然災害から人々を守る」 <p>〈総合〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「命を守る！～地震に備え、わたしたちにできること～」 <p>〈行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災宿泊 	<p>教材の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的事象と自分とのつながりを意識できるように、文京区の事例を資料として取り上げるなど教材の工夫をする。 <p>学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な問題として考えられるように、家庭での経験や取り組みについて調査活動を行うなど活動の工夫をする。 	<p>◎文京区の事例を題材として取り上げることで、授業の際に、自分が見聞きしたことを発表したり、家庭と連携しながら、調べたりする児童の姿が見られた。</p> <p>●単元後も学んだことを使える知識にしていけるように、時折、朝の会などで関連事項について話題にするように工夫する。</p>
思考力・判断力・表現力等	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、学習問題を立てて、問題解決をしていく際に、目的意識をもてない児童がいる。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ごんぎつね」 	<p>児童の疑問から学習問題を立てる</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が目的意識をもてるように、気になった場面について話し合ったり、疑問を短冊に書き出して整理したりして、児童の疑問から学習問題を立てるようにする。 <p>学習方法・課題追究の見通しを具体的に示す</p> <ul style="list-style-type: none"> どのような方法で追究していくか、課題追究の道筋を児童に具体的に示すようにする。 	<p>◎単元全体を通して、その単元の目的を意識しながら、それに合わせて自分で工夫して活動する児童の姿が見られた。目的を共有できているので、考えたことを共有する話し合いでも、ぶれることなく、考えを広げたり深めたりすることができた。</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>〈全教科〉</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてをもって活動する習慣は身に付いているが、次の時間に具体的に自分がどうしたいのか、どこをどのように意識して学習活動に向き合うのか、めあてが具体的ではない児童がいる。 	<p>〈国語〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ごんぎつね」 <p>〈体育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「跳び箱運動」 	<p>めあてと振り返りの書き方の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてや振り返りについて、より具体的にどのように書き方を指導し、範となる児童の記述を紹介し、全体に広げていく。 	<p>◎授業においては、国語も体育も自分の課題を意識して活動の仕方を選んだり工夫したりする児童の姿が見られた。</p> <p>●めあての立て方が漠然としている児童もいるので、教師が個別に問いかけることで、めあてを具体的にできるように引き続き指導していく。</p>